



インテリアをより楽しむ 20色の扉を新たにラインナップシステムキッチン『CRASSO(クラッソ)』



TOTO は、システムキッチン『クラッソ』の扉 20色を新たに追加し 2015年8月3日(月)発売します。近年のキッチンへのお客様ニーズは、清掃性や収納性などの機能による満足だけでなく、インテリア空間に愉しさを癒しをより一層に求める傾向にあります。そうしたニーズに応えるために、TOTO のシステムキッチン『クラッソ』は、昨年より インテリア発想でキッチンをより楽しむという空間コーディネート提案してきました。今回の新商品は、インテリア空間で根強い人気の木目柄をさらに充実させています。木目柄をベースに表情豊かな単色・抽象柄の扉を組み合わせるコーディネート「WOOD × COLOR(ウッド・ハイカラー)」をはじめとし、遊び心のあるインテリアづくりをお楽しみいただける扉カラー20柄をラインナップしました。また、近年増加傾向にあるマンションのリモデルや、中古マンションの流通増加に伴うリモデル需要にお応えし、大がかりな工事がいらず、施工がスムーズに行える「梁対応キット」や「けこみ配管キャビネット(既存配管対応)」など、リモデル用の部材を入れた「マンションリモデルプラン」を新たに設定しました。

情報提供：TOTO

「地域型住宅グリーン化事業」グループ募集がスタート

国土交通省は5月1日、中小工務店グループの高性能住宅建設を支援する2015年度「地域型住宅グリーン化事業」の第1期グループ募集を開始したと発表した。第1期募集の締め切りは5月25日まで。第2期募集についても同日発表された。第2期の募集期間は5月26日から6月8日まで。同事業は、流通事業者、建築士、中小工務店などで構成するグループが地域特性に応じて、ゼロ・エネルギー住宅や長期優良住宅、低炭素住宅などの建設を木造で行う場合に工事費用の一部を補助するもの。地域材の活用に関する共通ルールを定めるなどの条件がある。ゼロ・エネ住宅については改修も対象になる。補助額は長期優良住宅と低炭素住宅は1戸あたり最大120万円、ゼロ・エネ住宅は同185万円を補助する。また、低炭素認定を取得する中大規模の木造建築物の整備についても補助を行う。補助額は1m²あたり上限1万円。詳細は「地域型住宅グリーン化事業評価事務局」(一般社団法人木を活かす建築推進協議会内)のホームページで公開している。

情報提供：新建ハウジング

平成27年3月の住宅着工の動向について



平成27年3月の住宅着工戸数は69,887戸で、前年同月比で0.7%増となった。また、季節調整済年率換算値では92.0万戸(前月比1.7%増)となった。利用関係別にみると、実数値では、貸家が前年同月比で増、持家、分譲住宅が減となった。季節調整値では、持家、貸家が前月比で増、分譲住宅が減となった。住宅着工の動向については、昨年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動もあって、このところ前年同月比で減少が続いていたが、13か月ぶりに増加となった。持家の着工については、展示場への来場者数をみると、回復の兆しがみられる。住宅着工については、今般の経済対策等を踏まえ、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。府県別は大阪 5285 戸(前年比2.7%↓)兵庫 2898 戸(13.9%↑)、岡山 807 戸(17.7%↓)広島 1488 戸(15.7%↑)です。また平成26年度の新設住宅着工戸数は、880,470 戸で、前年度と比較すると全体で10.8%の減少となった。

情報提供：国土交通省・日経ホームビルダー

マグ、床材はがさず簡単に床断熱リフォーム実現



マグ・イゾベールは4月30日、床材を剥がすことなく、住みながら床の断熱リフォームが行える専用グラスウール断熱材「床リノベ」を発売した。「床リノベ」は、床下から施工することで、床断熱リフォームの課題(床をはがすため工期・コストがかかる、水まわりリフォームや床張り替えの追加工事的にしか実施できない)を解消したもの。マットタイプとボードタイプの2種類をラインアップした。マットタイプは、全面が穴あきポリエチレンフィルムで包まれているためクチク感を軽減、低密度で圧縮できるため床下点検口から搬入しやすい。施工は、フィルムの耳部分をタッカー釘で留め付けるため、床下からでも容易に作業ができる。もう1つのボードタイプは、折りたたみ加工をほどこすことで搬入に配慮。こちらは透湿防水シート付きのため、施工後は防風層・気流止め役目を果たす。施工は、透湿防水シートが床下側になるよう充填し、耳部分をタッカー釘で留め付けるだけ、と簡単だ。

情報提供：新建ハウジング